

ニュースレター

第 21 号 2020 年 4 月 20 日発行

難病医療相談支援センター

松浦千春・中村良枝

(浜松医科大学医学部附属病院内)

〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1

TEL/FAX(053)435-2477

新年度のスタートです

各地で花の便りが聞かれる頃となりました。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年通りとは異なるスタートになってしまい、勉強会、研修会、就労相談会などが、中止となっています。

しかし、当センターでは、自粛期間が長引くようであれば、Web などを取り入れながら研修会の機会を設けて行くことも検討したいと考えています。

研修内容希望募集します！

当センターでは医療従事者向けに研修会を開いてきましたが、新型コロナウイルスの終息のめどがたたず、次回の研修会の日程も決められない状況が続いています。

研修会では、毎回アンケートを取らせていただき、研修会に対して求めることをお伺いしていますが、さらにこの自粛期間を利用し、現場の声を広く集めさせていただこうと考えています。

研修会で取り上げてほしいこと、現場で困っていること、知りたいこと、やってみたいことなどがあれば、是非当センターに情報をいただければと考えています。

下記メールアドレス(中村良枝宛)まで連絡お待ちしております。

【 naka44@hama-med.ac.jp 】



災害時難病患者受け入れ訓練

令和 2 年 1 月 17 日(木)訓練のご協力ありがとうございました。

9 時 00 分に疾病対策課から訓練メールを受信後、9 時 12 分に協力病院 37 病院へ一斉送信致し、その結果 25 病院から返信をいただきました。

人工呼吸器装着患者は拠点病院と合わせて 86 名の入院受け入れが可能でした。(加茂 2 名、熱海伊東 1 名、駿東田方 9 名、富士 9 名、静岡 8 名、志太榛原 1 名、中東遠 16 名、西部 40 名)

電源確保のみは 79 人の受け入れ可能でした。(加茂 5 名、熱海伊東 2 名、駿東田方 17 名、富士 5 名、静岡 9 名、志太榛原 2 名、中東遠 15 名、西部 24 名)

疾病対策課に 11:02 第 1 報、15:34 最終報告しました。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

今後よろしく願いいたします。



診療科調査について

2年に1回実施していた診療科調査(昨年該当年度でしたが、保留となっていました。)を今年度は実施予定です。時期は未定となっておりますが、ご協力よろしく申し上げます。

調査結果は、静岡県のホームページ『医療ネットしずおか』の関係者ログインページに掲載されます。

啓発グッズの作成

近年、自然災害により停電時の電源確保に難渋した例が聞かれています。

非常時に備え、在宅で人工呼吸器を利用している人に、外部バッテリーや発電機の所有を促す意識を向上してもらうため、マグネット付きクリップの啓発グッズを作成しました。

2月に開催予定であった難病患者災害連絡協議会で一部配布予定でしたが、会議が中止されたため別の機会で配布していこうと考えています。



難病医療相談支援センターのメンバーが増えました。

難病診療カウンセラー(看護師)として入職した中村良枝です。

浜松医科大学医学部附属病院で7年働いた後、ライフスタイルの変化に合わせ、療育センター、総合病院、クリニック等で働いてきました。看護師歴約18年になります。

様々な場所で働く中で、難病の方々に接する機会があり、患者様、家族の方、医療スタッフの思い、考え方を知りました。この度、縁あって支援センターで働かせていただく機会を得ました。

これからは、難病の方々を裏方として支えられるように微力ながら頑張っていきたいと考えています。

よろしくお願いいたします。

